

新編水滸畫傳

九編

七

~21  
875  
87





明へ21  
875  
卷 87

新編水滸画傳卷之八拾七

東武 高井蘭山公羽譯編

明治三十二年  
一月十日  
講求

○贛州城小茹鄧え覺と射

次の日宋江の童極密を清く相慶縣小茹めて自く死す。秦の魯智深、戴宗、李逵、樊瑞、王英、扈三娘、項充、李衮、凌振の諸人と引合し、一萬軍騎、素月の老人と見え、馬に跨り、矢を射、人の救を仰ぐ。徑行、うら山のまがら、知れ、百人の緘兵あり。こゝに担へられた事、遠大に吼く、救く、小救、救はれ、緘を低款べ。こゝに、向く、向く、跡、美られた、宋江のまを、さす、小東、管の地、ふ、知る。け、時、こゝに、文の法なり。東、管の、お、ね、任、意、量、の、宋、江、こゝ、小、救、と、救、う、り、と、笑、う、り、と、さ、り、下、の、宋、江、一、女、騎、ふ、ど、も、足、ど、ん、ぱ、く、を、さ、す、事、の

新編水滸画傳卷之八拾七



大将不故口や自らくる小者ありと意を睦州小者て祖述相小者  
 勢と夢しく告げれば祖士遠大不器もと意を佐伯と集めて高儀  
 となすは時宗云ハ小海より烏龜炭の書も小迫り凌振小命じ  
 連珠砲と放とせりれば青天地小雷と山河もあき作なり。  
 烏龜の雲上へ石室とてあけ書とせり大不器とて意を拵白  
 飲小命也敵の松子と何れしれば白波遙小る小宋江の船号  
 天地小通く肉小焼く焼くく。白飲ハ本陣小立回り拵と備  
 細小供えれば石室云云小睦州より救の云と越のへん小我ら小只  
 緊くは知とせりくわく戦へるは睦州ハ沂林の軍ありは自ら  
 お防ぐ小豆えん。鄧え受をせとせと云云作差へり今も我ら睦  
 州と救えんハ本陣備失ある時ハ是といふ時ハ本軍三田を

遂小そ初と判代自ら小子の軍馬と相へ夏侯成と引て炭  
 とありを春江岸に兵と睦州へ向て小烏龜炭と攻破んと  
 宋軍とありは処小ありも鄧え受をせとせと云云作差へり今も我ら睦  
 みろ。花菜遠小是とりく。宋江の舟小傍く。修くはは人  
 如く口バ獲て。宋江熱死く云は計小はと宋明と相と計と授  
 けりハ秦羽受で馬と誰せ別鄧え受と戦へるが宋と小命  
 も及さる小秦羽の迹るとりく。小追ハ馬と艇て小宋軍は残  
 程んとる小和向くをみろ。花菜ハ縁て計りしとありは自ら。宋江  
 の後小相くははが鄧え受が宋江と追く己小相をくするといふ。  
 小と機とハ月のかく書と放つて流星の如く観得く醜地放ら  
 れば。宋軍は鄧え受の面と射りしは。初らるる。宋軍は。宋









鄧元覽  
前を向  
受て馬下  
死す

新編才信畫傳卷之八拾七







かくは操云同り来く。法漢河の敵とて軍勢おもしろと告げられ、  
 王操亮一丈書二子の馬軍と漏れ、故と違ひ二人憐れ  
 命とせり。法漢河の水上、鄭彪向ひくる処、おもしろも鄭彪の軍馬  
 出合られ、兩岸各殊勢と相成り、呼りくる。侍王操亮馬とせ  
 て出らふ。鄭彪向く戦ひるが、あど八九合、及むとぞ。怒お鄭彪  
 曰ふ、兄文と留へ、一声疾喝し、れば、おちら鄭彪の盧の河より一途  
 の黒糸流おちり、馬軍の河より一途の冷甲天林と取れ、おもしろ  
 舞の宝杯と掲げ申し、おもしろければ、王操亮丈書、怒お懐く  
 陰法、おもしろければ、遂に鄭彪お付き、一丈書、一丈書の討き、  
 忍ぶれ、と雙刀と構へ、おもしろ鄭彪と戦ひ、あど二三合、及  
 むと、おもしろ。鄭彪、伴取し、馬と回し、れば、一丈書、おもしろ、大丈書の仇と報

んと馬と死に追り、おもしろ。鄭彪、おもしろ、左の首、おもしろ、右の首、  
 腰お撃ち、後袋の月の令牌と撲ち、身と絶へ、おもしろ。おもしろ、  
 一丈書の眉間、おもしろ、おもしろ、死し、おもしろ、おもしろ、  
 戦ひ、侍人も、一場の春夏と消し、おもしろ、侍鄭彪、おもしろ、  
 ければ、宋軍、大おもしろ、おもしろ、おもしろ、おもしろ、  
 と笑ひ、おもしろ、王操亮、一丈書、おもしろ、おもしろ、  
 半時、おもしろ、おもしろ、おもしろ、おもしろ、  
 項元、おもしろ、おもしろ、おもしろ、おもしろ、  
 怒の軍、おもしろ、おもしろ、おもしろ、おもしろ、  
 一丈おもしろ、鄭彪と罵て、おもしろ、おもしろ、  
 又おもしろ、おもしろ、おもしろ、おもしろ、







方とて名姓大名の何と申す。唐を討つる。曹操の部名の後と申す。昔より此地に住居る。今持て来り。義士の名。小輩人。那方十三名。衆數今正ふらん。と云。彼が言ふ。と。旬日。小名。平し。又。義士の名。よかと流る。今。困と。更ら。と。世。救。を。己。小。人。名。に。あ。ひ。同。く。云。え。生。己。小。衆。數。と。知。う。る。方。十。三。の。日。の。日。の。亡。く。部。勇。力。又。よ。言。す。ん。小。討。押。と。推。と。受。ん。と。こ。忽。後。い。定。お。く。衆。は。不。得。上。よ。在。て。醒。來。り。己。方。と。重。ふ。雲。水。の。勢。晴。天。朝。小。衆。清。く。今。在。つ。る。合。甲。の。大。漢。子。の。如。く。大。松。樹。と。云。ら。ん。衆。は。大。小。軍。將。と。呼。起。し。移。と。爲。出。ん。と。せ。知。ふ。又。松。樹。の。背。後。お。喊。の。音。大。に。起。り。ん。軍。將。小。令。と。て。攻。出。ん。と。時。那。里。の。山。原。より。魯。智。深。武。松。と。い。ふ。と。ん。ど。南。軍。の。中。小。攻。入。り。包。圍。し。馬。上。小。互。り。り。が。

武松のよめりしと。身。を。と。り。ん。忽。ち。全。を。混。天。の。劍。と。抜。出。し。さ。り。り。の。死。り。武。松。の。虎。の。背。と。攻。り。り。武。松。の。腕。も。虎。の。口。に。入。り。早。く。右。の。も。と。を。混。天。の。劍。と。奪。取。す。が。る。戦。い。が。虎。の。背。の。腹。後。深。く。入。り。り。閃。避。て。人。へ。お。り。り。魯。智。深。大。に。叫。ぶ。禪。杖。と。い。ふ。お。か。る。包。圍。し。武。松。と。救。ひ。虎。の。背。と。り。り。七。八。分。の。混。天。の。劍。を。己。小。お。り。り。武。松。も。送。活。せ。り。ん。と。攻。り。り。武。松。其。煙。火。を。鹿。活。の。煩。と。待。ん。や。と。て。魯。智。深。か。と。抜。出。し。送。り。休。息。と。な。さ。り。り。あ。り。り。言。は。れ。小。衆。魯。智。深。も。南。軍。小。攻。入。り。魯。智。深。と。戦。い。し。ま。と。十。合。小。及。び。魯。智。深。遂。に。敵。と。が。く。山。林。を。入。







まりく在るふ又劉光世数万の兵を引く内加勢ありければ集令  
 いて呂芳郭盛張宣若救若若福若若度杜具郁保也中彼改小  
 又改小七を威を極ホ十二人と被地小苗多余の如く集とせふ  
 此小更りく君と仰けいんと告りれば集に大おねび日多く救方と  
 亡し子武松衆人となり夢智深の竹深志んさうとと被細ふ  
 所へ又燈籠とて流し流しうご用はて云足長必と愛へ  
 く妻賢と扱いし人とある所今方備とせんと且文よも  
 何ぞ由承の大事とせしとおのりらると保られ集にわく候と  
 ねく那星の松樹と拾う。夏中の半と妻しく候つれば是角  
 が云己おけ美徳の夏あるん必ばけ辺お美神在して足長と書獲し  
 のよふ疑ひなく足長何ぞ廟宇とるひく神明お樹し候らる

やと若られば集にむなりとを候お同じ。二人い山ふより廟宇も  
 在やとるらるふ。未と半集とらりもささるふ。松林の中ふ一石の古  
 此廟よりんば二人の集表の下ふむく首と書牌額とるふ今  
 字とて烏竜神廟と書付らる。待二人廟ふ入く殿上と書むお  
 不思議や龍系の神像中ふとせと少くも美あることあり  
 りれば孫奇美の思ひとせ。再會して謝して云昨日多く神明救  
 儀の恩と慕じりせ。報おると能はるを神明の復獲とぬく。官  
 備と改せり。天中静濫おなり。救ご朝廷お奏せし。まのそ  
 廟宇と建屋。聖号と被く。永く享祭とせんと懇お祈り。天  
 と階とりりて階下の石碑を候ふ。神社の神ありと唐胡のを土  
 として姓の邵名お後と云賢士らる。不遇して聖らふあつた。後には







中へ登りて死せしが天帝より慈悲と憐れんが精神となりて永くけ  
 地とあはれしむるは是より倭國の百姓風と云ふはあち風と吹くは  
 と云ふはあち風と吹くはあち風と吹くはあち風と吹くはあち風と吹くは  
 ありひびきしと。東に倭國て是より教するは倭國士年ふ合し鳥  
 と猪白と羊と供と祭と云ふ。程も願外の松樹をくく合甲と澤  
 子おれ化せしとと異用ふは。其お奇美の思ひとなりて右馬  
 衆て陣中お返りし。其夜宋の異用とす。其陣中と攻る計  
 と高城。己お半夜おあり大お困勞られん。己おあり。假使と云  
 へしが忽ち一人あり報じて邵秀女中おありと告ぐれば。其はあち  
 程と立く邵龍君と云く守護の思と謝しければ。邵龍君云  
 昨日の若菜の故よあはれせん。義士己お是なり。其はあち

べ。今日ハ又義士お奠とて睦州の破んと旦夕おあり。方十二擒  
 小たしとありければ。宋に遠へく去ること同んとす。己おあり。其の言  
 又驚るん。睡りの爰是れ。其の言と異用と云く。其はあち  
 占わしむるお異用と云く己お龍君か。のどく。其はあち  
 云と云を。睦州と討べ。宋に軍陣のと云く。其はあち  
 とく己お次の日お。睦州と攻る用と云く。其はあち  
 其はあち。烏龍の言と云く。其はあち  
 其はあち。睦州の言と云く。其はあち  
 子母龍と城中お向つ。故と云く。其はあち  
 鳴谷響れば。城中の人民大お驚と上と云く。其はあち  
 包天竹鄭魔君の城中お退て。祖士遠と云く。其はあち



亦儀とやうにらる。及ふ。砲撃す。天小宮とて。宋と云。己小城中。小攻。其のた  
 りと音。れ。べ。い。う。り。見。んと。落。初。は。右。丞相。紐。士。遠。を。こ。出。く。古。漢。は  
 云。ひ。や。款。を。城。下。小。降。時。ち。死。戦。せ。ざ。ん。が。何。と。い。く。り。是。と。解。ん。  
 城。破。す。と。あ。げ。積。り。積。り。擣。と。ぬ。べ。法。お。い。う。と。ま。ら。れ。ば。鄭。魔。君  
 む。と。同。く。彈。弓。は。毎。星。と。丸。右。小。從。へ。又。後。へ。小。廿。作。人。の。精。を。と  
 づ。つ。と。ま。あ。せ。い。た。一。可。練。結。城。つ。と。突。く。常。江。と。對。陣。は。け。時。宋  
 江。の。つ。と。と。彼。小。儀。と。云。と。城。外。小。出。く。む。城。上。く。る。色。天。作。成  
 筆。と。く。と。紐。士。遠。沈。壽。植。逸。右。城。樓。小。より。攻。持。小。憑。く。扱。く  
 ころ。け。時。鄭。魔。君。は。る。と。此。を。陰。と。謀。て。陳。と。出。ま。る。宋。軍。の中  
 ころ。六。力。突。騎。馬。と。出。く。刀。と。舞。く。と。い。は。と。遠。く。あ。お。戦。ふ。と。宋。十  
 合。ふ。及。び。鄭。魔。君。い。ん。と。関。防。は。故。見。や。負。色。小。と。く。り。わ。ん。色。

乃。乙。城。上。より。是。と。い。ふ。口。中。小。呪。文。と。唱。へ。一。声。唱。と。叶。へ。城。上。の。鄭  
 魔。君。の。城。上。より。一。乃。の。雲。来。と。生。じ。雲。来。の。所。より。一。乃。の。合。甲。と  
 名。る。神。人。と。現。れ。せ。り。お。小。降。魔。の。室。株。と。提。お。申。より。あ。り。る  
 け。時。南。軍。中。小。馬。来。大。小。起。く。分。ら。げ。に。常。江。の。上。より。い。き。と。そ。と  
 意。を。風。世。魔。王。契。機。と。い。は。し。と。り。り。自。ら。又。天。書。と。云。く。  
 風。と。同。く。暗。と。破。る。法。と。い。ひ。呪。文。と。唱。り。お。小。包。ち。常。江。の。城。上。より  
 一。乃。の。白。雲。と。捲。起。く。白。雲。の中。小。一。乃。の。神。お。と。現。れ。初。め。は。ま。ま  
 を。檢。り。く。鳥。籠。小。を。あ。ら。む。小。後。提。と。い。は。し。鄭。魔。君。城。上。の  
 合。甲。と。名。る。神。人。と。戦。へ。下。の。方。より。あ。お。火。を。と。敷。て。戦。ひ  
 ころ。忽。ち。上。面。の。鳥。籠。お。棄。り。神。お。の。合。甲。と。名。る。神。人  
 と。戦。ひ。退。り。と。い。は。し。下。の。方。より。あ。ら。む。常。江。唯一。刀。は。鄭。魔











大衆を各々戟とて棄て我先かと近きなり。軍軍の安くと  
 烏竜の突と奪に突つて使と宋江の陣中へ入り捷軍の報と  
 報らり。さんば水軍の大將成者へ謝後習流喬公の二人は己小鳥  
 竜炭の取ましとていへ。水寨を捨岩と越へ近きなり。成者謝後  
 農氏小生担を睦州宋江の舟へ下流する。習流喬公の遂に行  
 踪と突ひりり。幸極密判於習の己小鳥竜炭と奪ひ一舟を流  
 と分つて同流とせしむ。お隊の軍を引を睦州小同りり。  
 宋江の二十里の舟おれおとせ入る。各城中へ入る軍を傳めえ  
 標とせし百姓と接接しこれら南の舟おする者も數とま  
 らん時。宋江の悪く悪念と罷と糧をせし百姓を  
 舟の者おと各を己小同しこれら皆悪の心と感しけり。

さんば水軍の大將成者謝後二人と陳希の松樹小傳各腹と刺  
 く行とれ改小二孟庸と作し。烏竜炭をせびり。成者  
 の二突と記再び事後ホの水軍のお小令し南軍の城おと張拓  
 討の軍お解し各首と斬らり。宋江は後の一騎は  
 烏竜炭と奪しとて。又呂方鄭成と失ひふ。惟持し  
 して宋江の睦州城おれ。盧俊義の取ると信と各  
 せ。清溪洞を攻めんと。軍馬を休めり。李純小盧俊  
 義の抗別と宋江と分れり。二十八人の軍おを引率し。各  
 船三方船騎抗別修り。山崎と程し。陳安法とある。各  
 衆聞おあふり。押し星山宛の抗別争し要害の地。各  
 舟備し。大將龐美春とせし。け突とせしむ。各船を



春の江苗の人として勇獵軍中第一弓の名人たる世の人を  
 け小善中基と呼ぶなり。又小下二人の副あり。雷烟と計  
 授とてす。おろく八百斤の勁弩と放ちり。又能陰棒と使澤て万  
 丈不苗の勇あり。腕裏春の末兵。皇出夜冥小向と。士平よ命  
 一教子の弩弓と。冥上小並各准儀となり。おろく。それぞ。度後  
 義の皇出夜冥のゆふ疎紅。之史を疎建揚春孝忠。薛永の六  
 ねふ三子余結の精を。是流。志足小を。む史を。お六人の  
 て馬小結を。維の歩。て冥下。おり。おろ。て一人の敵も。あ。と  
 是。史を。大。小。疑。ひ。お。ね。と。も。儀。せん。と。せ。知。よ。忽。ら。夜。上。の。鼓  
 の。響。響。を。お。れ。の。史。を。首。と。作。り。冥。上。と。皇。小。一。面。の。縁。り。と。る。流  
 の。流。と。ま。く。彼。小。善。中。基。三。腕。百。善。志。先。小。を。出。史。を。お。と。ん。く

大。小。名。ひ。罵。く。を。汝。お。ら。ぬ。城。深。山。泊。お。在。く。血。と。お。れ。を。お。願。あ。る  
 小。今。屏。朝。の。招。安。と。お。り。様。じ。く。我。お。向。の。懐。御。奔。と。振。て。立  
 車。の。隨。お。向。の。矢。あ。げ。ば。傳。く。汝。の。軍。中。小。の。小。車。を。と  
 中。ん。を。織。を。く。弓。と。好。す。と。嘖。り。お。く。出。来。く。我。と。弓。術。と。教。へ  
 べ。之。我。子。辰。と。を。一。めん。と。お。と。え。も。流。く。は。弓。と。挽。て。應。じ  
 放。り。お。れ。を。矢。史。進。の。胸。と。鉄。く。る。り。擲。落。く。石。を。陳  
 遠。揚。春。孝。忠。薛。永。の。み。ね。も。小。善。あ。く。救。り。ん。と。り。小。忽。ら。山  
 上。小。善。と。言。う。と。九。右。の。松。林。の。叢。り。ぬ。の。と。く。小。矢。と。放。り。け  
 れ。は。五。ね。の。史。を。と。救。へ。と。傳。へ。各。人。命。浪。り。小。矢。と。一。つ。の。山。の。咄。用  
 辺。と。さ。り。時。山。上。の。雷。烟。計。授。お。下。知。て。矢。と。放。じ。む。る  
 と。ぬ。り。も。繁。く。と。い。う。ある。英。お。ろ。も。逃。ぐ。べ。と。や。る。あ。く。擲





盧俊義の諸勢  
 五嶺の陣  
 攻奇





びべ。さうも鬼神と交え。水滸の六好つのは怒りお討ち  
 れ南柯の一夏と失ふ。さういふ子の兵も多々怒りお討ち  
 百余人の小軍。這う命と道に回し来り。要く廣徳の報  
 といふ。廣徳義大を殺し。只碎らざらむ。半時をうり。言ひを  
 能く神機軍作。来り。陳達揚春。外に。其別義。縣の少  
 義。山ふて。竹。政。飲。と。な。色。二の。黨。れ。を。果。て。あり。が。波。と。扱。め。  
 為。く。廣。徳。義。と。壓。め。云。と。海。強。く。悲。と。山。め。り。人。都。く。大。う。  
 と。保。ま。し。あ。く。計。と。思。し。圓。と。破。り。故。と。切。く。け。恨。と。報。が。せ。  
 廣。徳。義。が。云。中。公。明。我。お。多。く。の。軍。と。さ。若。添。り。よ。よ。来。一。戦。  
 とも。踏。ひ。之。六。人。の。大。物。と。失。ひ。こ。子。の。歩。軍。と。さ。り。百。余。人。よ。お。お。  
 さん。何。の。面。目。も。さ。く。弟。公。明。お。ま。み。え。ん。や。弟。公。明。善。て。云。古。人。云。と。

あり。天の時の地。の利。ふ。さ。り。地。の。利。い。人。の。知。お。さ。り。は。と。う。や。我。ら  
 之。中。系。山。東。の。老。を。以。て。い。は。れ。と。要。く。水。滸。お。恨。け。け。と。以。て。今。計  
 の。利。と。失。へ。り。さ。あ。く。思。え。よ。よ。お。今。當。面。の。二。日。姓。の。中。も。く。能。地。利  
 と。知。ま。る。老。と。は。く。い。は。れ。の。曲。折。と。知。る。と。以。て。計。と。施。し。お。使。あ。り  
 ん。廣。徳。義。が。云。軍。師。の。言。按。く。當。面。も。さ。り。以。何。人。と。さ。り。を。計。中  
 と。索。む。べ。と。来。武。う。云。數。上。の。當。時。計。し。と。考。と。飛。壁。と。さ。り。人。あ。れ  
 ば。先。え。お。い。の。穴。や。け。時。廣。徳。義。を。あ。り。時。計。と。思。く。要。く。今。計。け  
 け。バ。時。計。計。が。知。受。し。多。く。の。乾。糧。と。常。陳。中。と。出。源。山。と。は。し  
 く。以。て。半。日。が。ら。う。日。も。さ。り。お。書。き。れ。が。何。と。さ。り。當。面。と。は。計。か。と。考  
 よ。遙。山。上。お。妙。の。光。と。く。れ。が。彼。お。お。こ。を。必。と。人。家。あ。ん。と。思。と  
 と。あ。く。彼。お。お。さ。り。ふ。一。つ。の。信。信。も。さ。り。れ。が。時。計。の。廣。の。若。お。来。り。



密ふ窓の透るより内を覗く。八十をうりの老僧を候ぐあり  
 り。門は閉まらざり。故に彼老僧一人の小僧と候ぐ。門を叩  
 け。時近内へ入られ。老僧候へ。同て客人のいふを今  
 幾時と経く。け。深山の梁公明が子下のおり。時近と申老  
 して従ふ。深山の梁公明が子下のおり。時近と申老  
 け。彼天子の勅令と申す。方備と証見ぬ。け。是山に  
 り。昨日の賊ふ。私物を放され。彼方の舟車と候する。多  
 く。む。と。越る計あり。是れ。ふ。系。と。し。く。邪。の。小。和。と。候。し。今  
 深山。暖。世。と。経。く。け。知。ふ。お。り。り。万。を。作。又。別。ふ。小。後。を。候  
 よ。と。一。つ。け。山。に。と。諭。し。め。ば。存。く。け。思。慮。を。候。す。し。老。僧。が。さ。く  
 け。処。の。百。姓。も。久。く。一。方。備。の。害。と。候。り。一。人。も。恨。ま。ら。ざる。矣。と。候。し。

んや。老僧が。さ。の。業。に。終。生。の。奔。程。と。候。く。そ。日。と。過。り。そ。あ  
 り。今。人。民。と。ぐ。く。口。方。へ。の。れ。ん。ハ。只。け。知。る。を。死。と。ま。つ。り。か。り。あ  
 り。お。今。昔。の。天。去。り。あ。り。ま。と。豈。候。し。う。や。若。も。又。友。と。あ  
 り。老。僧。候。ん。昔。し。る。ま。ぐ。只。け。知。る。別。ふ。園。と。候。し。け。は。  
 遠。く。西。山。の。辺。へ。一。束。の。小。舟。を。候。し。候。上。へ。お。入。り。と。乗。人。を  
 候。と。塞。ぐ。し。時。近。が。云。ひ。お。け。一。舟。も。候。も。賊。人。の。奉。送。お。通。す  
 る。や。若。も。老。僧。が。云。ひ。候。け。候。上。へ。毎。日。と。申。ら。ふ。候。万。事。の。候  
 の。後。ら。お。申。す。れ。ど。近。來。賊。人。大。石。と。候。く。を。候。と。塞。ぐ。し。  
 い。ん。ぞ。毎。日。と。候。ん。や。時。近。が。云。ひ。候。し。う。や。若。も。又。友。と。あ  
 別。ふ。子。候。あり。今。回。り。て。候。と。主。候。お。告。再。び。申。す。老。僧。お。別。ひ。申  
 す。老。僧。が。云。候。軍。必。ず。我。候。候。と。思。お。候。し。と。候。り。と。申。す。あ。れ

竹扇と許す











